

教科	体育	学年	6
単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準
体ほぐしの運動	4	・いろいろな体ほぐしの運動を行い、仲間と体を動かす楽しさや心地よさを味わう。	(知・技) ・体ほぐしの運動の行い方がわかる。 ・手軽な運動を行い、体を動かす楽しさや心地よさを味わうことを通して、自己や仲間の心と体の状態に気付いたり、仲間と豊かに関わり合ったりすることができる。 (思・判) ・心と体の関係を理解し、友達と関わり合ったりするなどのねらいに応じた活動を選んでいる。 ・様々な運動を行って比較することで、気付きや関わり合いが深まりやすい運動を選んでいる。 ・運動を行うと心と体が軽やかになったことやみんなでリズムに乗って運動をすると楽しさが増したことを学習カードに書き、振り返りの時間に発表している。 (態度) ・正しい服装で取り組んでいる ・体ほぐしの運動に積極的に取り組んでいる。 ・運動を行う際の約束を守り、仲間と助け合っている。 ・運動を行う場の設定や用具の片付けなどで、分担された役割を果たしている。 ・運動の行い方について仲間の気付きや考え、取組のよさを認めている。 ・運動の場の危険物を取り除くとともに、用具の使い方や周囲の安全に気を配っている。
体の動きを高める運動	6	・体の動きを高めるためのいろいろな運動の行い方を理解し、動きを工夫して体力を高める。	(知・技) ・体の動きを高める運動の行い方がわかる。 (ア)体の柔らかさを高めるための運動 ・体の各部位の可動範囲を広げる体の動きを高めることをねらいとして行う運動ができる。 (イ)巧みな動きを高めるための運動 ・人や物の動き、または場所の広さや形状などの環境の変化に対応して、タイミングやバランスよく動いたり、リズムカルに動いたり、力の入れ方を加減したりする体の動きを高めることをねらいとして行う運動ができる。 (ウ)力強い動きを高めるための運動 ・自己の体重を利用したり、人や物などの抵抗に対してそれを動かしたりすることによって、力強い動きを高めることをねらいとして行う運動ができる。 (エ)動きを持続する能力を高めるための運動 ・一つの運動又は複数の運動を組み合わせて一定の時間続けて行ったり、一定の回数を反復して行ったりすることによって、動きを持続する能力を高めることをねらいとして行う運動ができる。 (思・判) ・自己の体力の状況を知ったり、様々な動きを試したりすることを通して、体の動きを高めるためにどのような運動に取り組むとよいか、自己の課題を見つけている。 ・体の動きを高めるために、自己に合った運動の行い方を選んでいる。 ・どのようなポイントを意識して運動を行うと動きが高まるのかを見付け、それを生かした運動を工夫している。 ・グループで工夫した運動の行い方を、他のグループに例示して見せたり、言葉で伝えたりしている。 ・感想を伝える場面で、言葉のかけ方や並び方などの条件を工夫することで楽しく運動が行えたことを他者に説明している。 (態度) ・正しい服装で取り組んでいる ・体の動きを高める運動に積極的に取り組んでいる。 ・運動を行う際の約束を守り、仲間と助け合っている。 ・運動を行う場の設定や用具の片付けなどで、分担された役割を果たしている。 ・運動の行い方について仲間の気付きや考え、取組のよさを認めている。 ・運動の場の危険物を取り除くとともに、用具の使い方や周囲の安全に気を配っている。
マット運動	8	・技に挑戦したり、技を組み合わせたり、仲間と動きを合わせたりする。	(知・技) ・マット運動のいろいろな技の行い方がわかる。 ・自分の力に合った回転系や巧技系の基本的な技を安定して行ったり、その発展技に取り組んだりすることができる。 ・選んだ技を自己やグループで繰り返すことができる。 ・技を選んでそれらにバランスやジャンプなどを加えて組み合わせたり、ペアやグループで動きを組み合わせたりして演技をつくったりできる。 (思・判) ・マット運動のポイントを理解し、自分や友達の動きを照らし合わせて課題を見つけている。 ・見付けた課題を解決するために、複数の場の中から自分の課題に適した練習の場を選んでいる。 ・グループの中で観察し合ったり、学習カードやICT機器を活用したりして見付けた、演技のこつやわかったことを、文字や図で書いたり映像を活用して発表したりするなどして伝えている。 (態度) ・正しい服装で取り組んでいる ・マット運動の基本的な技や発展技、それらの技を組み合わせることに積極的に取り組んでいる。 ・互いの役割を決めて観察し合うなど、学習の仕方や約束を守り、仲間と助け合っている。 ・器械・器具の準備や片付けなどで、分担された役割を果たしている。 ・技や演技を行うなかでわかったことを伝えたり、課題の解決方法を工夫したりする際に、仲間の考えや取組を認めている。 ・けがのないように、互いの服装や髪形に気を付けたり、場の危険物を取り除いたりするとともに、試技の前後などに器械・器具の安全に気を配っている。
鉄棒運動	4	・できそうな技に挑戦したり、できる技を組み合わせたりして、鉄棒運動を楽しむ。	(知・技) ・鉄棒運動のいろいろな技の行い方がわかる。 ・自分の力に合った支持系の基本的な技を安定して行ったり、その発展技に取り組んだりすることができる。 ・選んだ技を自己やグループで繰り返したり、組み合わせたりすることができる。 ○前方支持回転(更なる発展技:前方伸膝支持回転)○片足踏み越し下り(更なる発展技:横とび越し下り)○膝掛け上がり(更なる発展技:もも掛け上がり)○前方もも掛け回転○逆上がり○後方支持回転(更なる発展技:後方伸膝支持回転)○後方もも掛け回転 (思・判) ・鉄棒運動のポイントを理解し、自分や友達の動きを照らし合わせて課題を見つけている。 ・見付けた課題を解決するために、複数の場の中から自分の課題に適した練習の場を選んでいる。 ・グループの中で観察し合ったり、学習カードやICT機器を活用したりして見付けた、演技のこつやわかったことを、文字や図で書いたり映像を活用して発表したりするなどして伝えている。 (態度) ・正しい服装で取り組んでいる ・鉄棒運動の基本的な技や発展技、それらの技を組み合わせることに積極的に取り組んでいる。 ・互いの役割を決めて観察し合うなど、学習の仕方や約束を守り、仲間と助け合っている。 ・器械・器具の準備や片付けなどで、分担された役割を果たしている。 ・技や演技を行うなかでわかったことを伝えたり、課題の解決方法を工夫したりする際に、仲間の考えや取組を認めている。 ・けがのないように、互いの服装や髪形に気を付けたり、場の危険物を取り除いたりするとともに、試技の前後などに器械・器具の安全に気を配っている。

<p>跳び箱運動</p>	<p>5</p>	<p>・いろいろな技に挑戦し、安定した跳び方ができるようにする。</p>	<p>(知・技)                  ・跳び箱運動のいろいろな技の行い方がわかる。                  ・自分の力に合った切り返し系や回転系の基本的な技を安定して行ったり、その発展技に取り組んだりすることができる。                  (思・判)                  ・跳び箱運動のポイントを理解し、自分や友達の動きを照らし合わせて課題を見付けている。                  ・見付けた課題を解決するために、複数の場の中から自分の課題に適した練習の場を選んでいる。                  ・グループの中で観察し合ったり、学習カードやICT機器を活用したりして見付けた、演技のこつやわかったことを、文字や図で書いたり映像を活用して発表したりするなどして伝えている。                  (態度)                  ・正しい服装で取り組んでいる                  ・跳び箱運動の基本的な技や発展技、それらの技を組み合わせることに積極的に取り組んでいる。                  ・互いの役割を決めて観察し合うなど、学習の仕方や約束を守り、仲間と助け合っている。                  ・器械・器具の準備や片付けなどで、分担された役割を果たしている。                  ・技や演技を行うなかでわかったことを伝えたり、課題の解決方法を工夫したりする際に、仲間の考えや取組を認めている。                  ・けがのないように、互いの服装や髪形に気を付けたり、場の危険物を取り除いたりするとともに、試技の前後などに器械・器具の安全に気を配っている。</p>
<p>陸上運動</p>	<p>11</p>	<p>運動の楽しさや喜びを味わい、その行い方を理解するとともに、その技能を身に付ける。</p>	<p>(知・技)                  ア 短距離走・リレーでは、一定の距離を全力で走ったり、滑らかなバトンの受け渡しをしたりすることができる。                  イ ハードル走では、ハードルをリズムカルに走り越えることができる。                  ウ 走り幅跳びでは、リズムカルな助走から踏み切って跳ぶことができる。                  エ 走り高跳びでは、リズムカルな助走から踏み切って跳ぶことができる。                  (思・判)                  ・陸上運動のポイントがわかり、自分の課題を見付けている。                  ・自分の課題に適した練習方法や練習の場を選んでいる。                  ・自分の能力に適した競争のルールや記録への挑戦の仕方を選んでいる。                  ・走り高跳びのポイントや友達の良い動きなどを、学習カードに記入したり、振り返りの時間に発表したり、感想文を書いたりしている。                  (態度)                  ・正しい服装で取り組んでいる。                  ・陸上運動に積極的に取り組んでいる。                  ・ルールやマナーを守り、仲間と助け合っている。                  ・用具の準備や片付け、計測や記録などで、分担された役割を果たしている。                  ・勝敗を受け入れている。                  ・課題を見付けたり、その解決方法を工夫したりする際に、仲間の考えや取組を認めている。                  ・運動場の危険物を取り除いたり、整備したりするとともに、用具の安全に気を配っている。</p>
<p>ネット型</p>	<p>6</p>	<p>・攻めの組み立て方を工夫して、ゲームをする。</p>	<p>(知・技)                  ・ゲームの行い方がわかる。                  ・自陣のコート(中央付近)から相手コートに向けサーブを打ち入れることができる。                  ・ボールやシャトルの方向に体を向けて、その方向に素早く移動することができる。                  ・味方が受けやすいようにボールやシャトルをつなぐことができる。                  ・片手、両手を使って、相手コートにボールやシャトルを打ち返すことができる。                  (思・判)                  ・誰もが楽しげに参加できるように、プレイヤーの人数やコートの広さ、プレイの制限、得点の仕方などの規則を工夫している。                  ・チームの特徴に応じた作戦を選び、自分の役割を確認している。                  ・課題の解決のために、自分や友達が行っていた動き方の工夫を、動作や言葉、絵図、ICT機器を用いて記録した動画などを使って友達に伝えている。                  (態度)                  ・正しい服装で取り組んでいる                  ・簡易化されたゲームや練習に積極的に取り組んでいる。                  ・ルールやマナーを守り、仲間と助け合っている。                  ・ゲームを行う場の設定や用具の片付けなどで、分担された役割を果たしている。                  ・ゲームの勝敗を受け入れている。                  ・ゲームや練習の中で互いの動きを見合ったり、話し合ったりする際に、仲間の考えや取組を認めている。                  ・ゲームや練習の際に、使用する用具などを片付けたり場の整備をしたりするとともに、用具の安全に気を配っている。</p>
<p>水泳運動</p>	<p>10</p>	<p>・安全確保に繋がる動きができるようになる。平泳ぎやクロールで長く泳げるようになる。</p>	<p>(知・技)                  【クロール】                  ・クロールの行い方がわかる。                  ・手を左右交互に前方に伸ばして水に入れ、水を大きくかくことができる。                  ・柔らかく足を交互に曲げたり伸ばしたりして、リズムカルな足をすることができる。                  ・肩のローリングを用い、体を左右に傾けながら顔を横に上げて呼吸をすることができる。                  ・左右の手を入れ替える動きに呼吸を合わせて、続けて長く泳ぐことができる。                  【平泳ぎ】                  ・平泳ぎの行い方がわかる。                  ・両手を前方に伸ばし、ひじを曲げながら円を描くように左右に開き、水をかくことができる。                  ・足の親指を外側に開いて左右の足の裏や脚の内側で水を掻き出すとともに、キックの後に伸びの姿勢を保つことができる。                  ・手の動きに合わせて呼吸をすることができる。                  ・キックをした勢いを利用してしばらく伸び、続けて長く泳ぐことができる。                  【安全確保につながる運動】                  ・安全確保につながる運動の行い方がわかる。                  ・顔以外の部位がしっかりと水中に入った背浮きの姿勢を維持することができる。                  ・大きく息を吸ってだるま浮きをした状態で、仲間に背中を押して沈めてもらい、息を止めてじっとして水面に浮く沈み続けることができる。                  ・タイミングよく呼吸をしたり、手や足を動かしたりして、続けて長く泳ぐことができる。                  ・息を一度に吐き出し呼吸をすることができる。                  (思・判)                  ・学習カードや掲示物などを活用して、水泳運動のポイントと自分や仲間の動きを照らし合わせ、課題を見付けている。                  ・クロールや平泳ぎで進んだ距離や、浮き沈みの回数、背浮きの時間などを自分で決めて挑戦し、自分の課題を見付けている。                  ・自分の課題に応じた練習の場や仕方を選んでいる。                  ・自分で選んだ泳ぎ方で続けて長く泳いだり、決まった距離でのストローク数に挑戦したりするなど、自分や友達の能力に応じた記録への挑戦の仕方を選んでいる。                  ・ペアやグループで互いの動きを見合ったり、練習の補助をし合ったりすることを通して、見付けたポイントやお互いの課題に適した練習方法を伝えている。                  ・友達とお互いの動きのよさを確かめ合ったり称賛し合ったりしている。                  (態度)                  ・正しい服装で取り組んでいる                  ・水泳運動の安全確保につながる動きを身に付けたり、安全な泳ぎ方を身に付けたりするとともに、泳ぎの楽しさや喜びを味わったり、仲間と助け合ったりしている。</p>

<p>ゴール型</p>	<p>12</p>	<p>・パスやシュートをしながら攻め方を工夫して、ゲームをする。</p>	<p>(知・技)                  ・ゲームの行い方がわかる。                  ・近くにいるフリーの味方にパスを出すことができる。                  ・相手に捕られない位置でドリブルをすることができる。                  ・ボール保持者と自己の間に守備者が入らないように移動することができる。                  ・得点しやすい場所に移動し、パスを受けてシュートなどを行うことができる。                  ・ボール保持者とゴールの間に体を入れて守備をすることができる。                  (思・判)                  ・誰もが楽しくゲームに参加できるように、プレイヤーの人数やコート広さ、プレイの制限、得点の仕方などの規則を工夫している。                  ・チームの特徴に応じた作戦を選び、自分の役割を確認している。                  ・課題の解決のために、自分や友達が行っていた動き方の工夫を、動作や言葉、絵図、ICT機器を用いて記録した動画などを使って友達に伝えている。                  (態度)                  ・正しい服装で取り組んでいる。                  ・簡易化されたゲームや練習に積極的に取り組んでいる。                  ・ルールやマナーを守り、仲間と助け合っている。                  ・ゲームを行う場の設定や用具の片付けなどで、分担された役割を果たしている。                  ・ゲームの勝敗を受け入れている。                  ・ゲームや練習の中で互いの動きを見合ったり、話し合ったりする際に、仲間の考えや取組を認めている。                  ・ゲームや練習の際に、使用する用具などを片付けたり場の整備をしたりするとともに、用具の安全に気を配っている。</p>
<p>表現                  フォークダンス・世界のフォークダンス</p>	<p>8</p>	<p>・「マイム・マイム」「コロブチカ」「グスタフススコール」など、世界の踊りの特徴を捉えて踊る。</p>	<p>(知・技)                  ・フォークダンスの行い方がわかる。                  ・外国の踊り特徴を捉え、基本的なステップや動きを身に付けて、音楽に合わせてみんなで楽しく踊って交流することができる。                  ・マイム・マイム(イスラエル)などのシングルサークルで踊る力強い踊りでは、みんなで手をつなぎ、かけ声をかけて力強くステップを踏みながら移動して踊ることができる。                  ・コロブチカ(ロシア)などのパートナーチェンジのある軽快な踊りでは、パートナーと組んでスリーステップターンなどの軽快なステップで動きを合わせたり、パートナーチェンジをスムーズに行ったりしながら踊ることができる。                  ・グスタフス・スコール(スウェーデン)などの特徴的な隊形と構成の踊りでは、前半の厳かな挨拶の部分と後半の軽快なスキップやアーチづくりなどの変化を付けて、パートナーや全体でスムーズに隊形移動しながら踊ることができる。                  (思・判)                  ・外国のフォークダンスのポイントがわかり、自分の課題の解決策を考えたり、課題に応じた見合いや交流の仕方などを選んで踊っている。                  ・踊りの特徴を捉えているかなどを確認するための仕方を選んでいる。                  ・課題の解決のために友達と見合ったところを他者に伝えている。                  ・ペアのグループやクラス全体で踊り、身に付けた踊りの特徴が出ているかを伝えている。                  (態度)                  ・正しい服装で取り組んでいる。                  ・外国のフォークダンスで交流したりする運動に積極的に取り組んでいる。                  ・フォークダンスに取り組む際に、互いの動きや考えのよさを認め合うこと。                  ・フォークダンスにグループで取り組む際に、仲間と助け合うこと。                  ・フォークダンスを行う場の設定や用具の片付けなどで、分担された役割を果たすこと。                  ・活動する場所の危険物を取り除くとともに、仲間とぶつからないよう、場の安全に気を配ること。</p>